

表1 入津湾赤潮プランクトン検鏡結果

令和4年4月20日

単位:細胞数/ml

採集地点	調査時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	シャットネラ	カレニア	ヘテロシグマ	コクロデニウム
		(m)	(°C)	(PSU)	(mg/l)	sp.	ミキモトイ	アカシオ	ポリクリコイデス
1. 西野浦(浪井義三氏筏前)	10:56	0	17.2	34.00	10.4	0	0	0	0
		5	16.8	34.11	10.2	0	1	0	2
2. 河内 奥	10:21	0	17.3	33.99	10.3	0	0	0	14
		4	16.7	34.10	10.4	0	1	0	53
3. 楠本	10:10	0	17.0	33.79	9.5	0	0	0	8
		7	16.5	34.22	8.4	0	0	0	12
4. 湾中央	10:31	0	17.2	34.01	9.7	0	0	0	0
		2	17.0	34.07	9.8	0	0	0	7
		5	16.7	34.16	8.9	0	1	0	56
		10	16.2	34.23	7.7	0	0	0	4
		20.9	15.2	26.05	3.7	0	0	0	0
5. 洲の本	9:47	0	17.2	34.05	9.3	0	1	0	0
		7	16.6	34.11	9.3	0	0	0	0
6. 畑野浦	10:03	0	16.9	34.08	8.9	0	1	0	0
		6	16.6	34.19	8.8	0	0	0	31
7. 尾浦	9:55	0	16.7	34.22	8.2	0	0	0	0
		5	16.0	34.32	8.3	0	0	0	0
8. 西野浦(自動昇降機前)	10:51	0	16.9	34.0	10.3	0	0	0	0
		9	16.3	34.2	8.1	0	0	0	0

※0mの水温・塩分・DOはクロロテックの0.5mの測定データによる

参考:赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/ml)

赤潮プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラspp.	10以上	100以上
ヘテロシグマ・アカシオ	5000以上	50000以上
カレニア・ミキモトイ	200以上	2000以上
コクロデニウム・ポリクリコイデス	30以上	300以上

\* 警戒密度は漁業被害が想定される密度です。

\* アワビ、サザエ等ではカレニア・ミキモトイで100~200細胞/mlで斃死する可能性があります。

\* マグロに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を乗じた細胞密度とする。

連絡事項

有害プランクトンのコクロデニウム・ポリクリコイデスが注意密度を超えています。また、カレニア・ミキモトイが確認されました。今後の細胞密度の推移にご注意下さい。

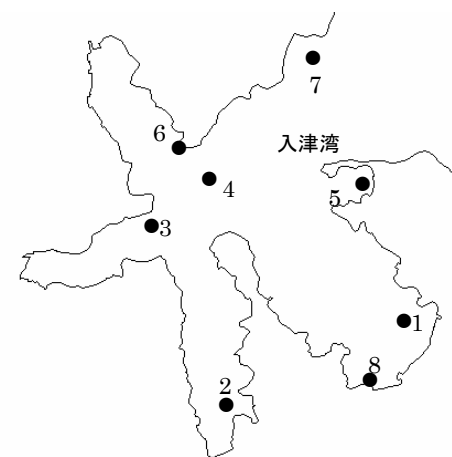


図 赤潮調査点